

特別火曜会講演会

「聞こえにくさを感じたら、その改善術！」

日時

2026年 10月13日 (火)

11:30 ~ ランチ
12:00 ~ 講演会

会場

神戸大学 東京六甲クラブ
有楽町電気ビル南館地下1階

クラブ
アクセス >>>



講師

大沼直紀氏

1965年、東北大学教育学部卒業。ワシントン大学医学部附属中央聾研究所に留学。国立特殊教育総合研究所難聴教育研究室室長。昭和大学耳鼻科難聴・補聴器外来を担当し医学博士（聴覚障害学）。1988年、聴覚・視覚障害者のための初の国立大学（筑波技術短期大学、後に国立大学法人筑波技術大学）の設置にかかわり教授、学長。東京大学先端科学技術研究センター 客員教授、つくば市教育委員長を経て2021年より現職（日本財団電話リレーサービス理事長）

会費

- ◆ クラブ参加 3.000円 / 人（ランチ代含む）
- ◆ ZOOM参加 1.000円 / 人
申込は10/6(火) まで



講演概要

耳の遠い人には耳元で大きな声を出せばよいと考える人が多いのですが、これは誤った常識です。難聴の聞こえの特徴について解説します。「目」の付いた「みる」の漢字は187もあるのに対して、「耳」の付いた「きく」の漢字はたった13漢字しかないのはなぜか。ヘレン・ケラーが語った『見えない障害は「物」とつながりにくくするが、聞こえない障害は「人」とつながりにくくする』を引用し、一般に理解されにくい聞こえの問題と、それが人間関係にまで影響を及ぼすことの重大性について述べます。テレビの音量を家族から注意されたことで聞こえの問題に気が付いたという例は少なくありません。難聴の予兆を自分で知るためのチェックリストを紹介します。

グラハム・ベルの知られざる話も紹介します。デシベル（dB）は、グラハム・ベルの名前の「B」をとって作られた音の単位です。「耳の日」が国際的に「3月3日」と決められたのもベルに関係があります。電話の発明者であるベルは、元々は聴覚障害者の言語指導に長けた教育者でした。ヘレン・ケラーの恩師でもありました。



ご参加をお待ちしております。
お申込みはこちら 



会場参加



ZOOM参加

主催 校友会東京支部（東京六甲クラブ）x 昭和52年卒幹事団

✉ tokyo@rokko-club.jp ☎ 03-3211-2916